

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-108604

(43)公開日 平成10年(1998)4月28日

(51)Int.Cl.
A 01 K 97/10
A 47 C 9/10
13/00

識別記号

F I
A 01 K 97/10
A 47 C 9/10
13/00

Z
A
Z

審査請求 未請求 請求項の数5 OL (全7頁)

(21)出願番号 特願平8-264686

(22)出願日 平成8年(1996)10月4日

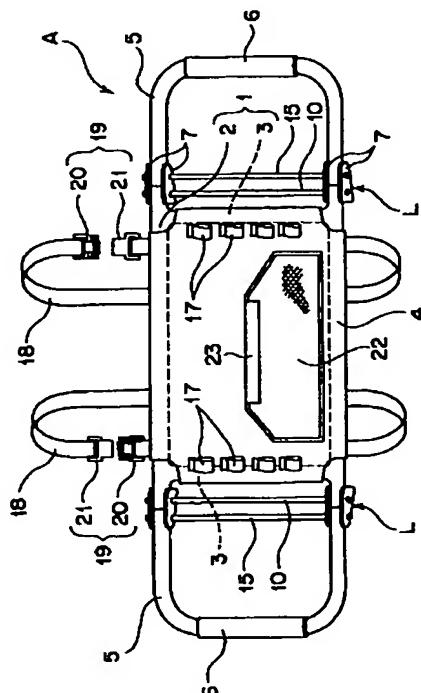
(71)出願人 000003207
トヨタ自動車株式会社
愛知県豊田市トヨタ町1番地
(71)出願人 000226194
ジプロ株式会社
東京都目黒区下目黒1丁目1番3号
(71)出願人 390011545
株式会社立松製作所
愛知県名古屋市緑区鳴海町字小森46番地
(72)発明者 伊藤 秀一
愛知県日進市折戸町福池85-1 トヨタ自動車株式会社内
(74)代理人 弁理士 瀧野 秀雄 (外1名)
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 ロッドホルダ

(57)【要約】

【課題】 自動車内に持ち込む釣り具は、車内を狭くする問題とばらばらになり易い等の欠点があった。

【解決手段】 ほぼ矩形状のフレーム1と、フレーム1の両端に回動可能に枢着されるアーム5と、アーム5を倒伏位置と起立位置にロックするロック機構と、フレーム1の矩形状領域を被覆する布製の袋4と、布製の袋4に取り付けられる長さ調整可能なバンド18と、バンド18の中間に設けられ、嵌脱可能なバックル19と、布製の袋4の表面に配列して設けられる複数の面ファスナ17と及び小物収納袋22とを設けてロッドホルダAを構成した。



1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 長手方向に平行な2本の主パイプと、該主パイプに両端部が接続する2本の連結パイプによりフレームを構成し、上記2本の主パイプと連結パイプにより構成される矩形領域を布製の袋で被覆し、上記2本の主パイプの両端部にそれぞれ上記2本の主パイプを貫通する支軸を設け、U字形状に屈曲形成された2個のアームの両端部に固着されたヒンジ部材を上記支軸に枢着し、上記ヒンジ部材に上記アームが上記フレームとほぼ同一面となる倒伏位置と該倒伏位置から直角に回動した起立位置において上記アームをロックするロック機構を設け、上記布製の袋の表面の両端部に、一側が上記袋に固着される帶状の面ファスナを配列して設けたことを特徴とするロッドホルダ。

【請求項2】 上記ロック機構は、上記2本の主パイプの両端部にそれぞれ設けられた長孔と、該長孔にスライド可能に挿入される移動軸と、該移動軸を一方に付勢するロックスプリングと、上記ヒンジ部材に設けられ上記移動軸が挿入される円弧状長孔と、該円弧状長孔の一端より屈曲して延設される倒伏位置ロック溝と、上記円弧状長孔の他端より屈曲して延設される起立位置ロック溝とにより構成され、

上記倒伏位置ロック溝及び倒伏位置ロック溝は、上記アームが倒伏位置及び起立位置となったときに、上記移動軸が付勢されている方向に延設されていることを特徴とする請求項1記載のロッドホルダ。

【請求項3】 上記布製の袋の表面に、上部が開口する小物収納袋を取り付け、該開口に面ファスナを設けたことを特徴とする請求項1又は2記載のロッドホルダ。

【請求項4】 上記アームの中央部分をゴム製の筒状材で被覆したことを特徴とする請求項1、2又は3記載のロッドホルダ。

【請求項5】 上記布製の袋の幅方の両端部を、自動車の座席の背もたれ部分を巻回する長さを有し長さ調整可能な2条のバンドで連結し、該2条のバンドの中間に嵌脱可能な雄、雌一对のバックルを設け、該雄、雌一对のバックルは、雄、雌部分が相互に反対向きに配列され、一方のバンドのバックルの雄部分を他方のバンドの雌部分に嵌合させることが可能であることを特徴とする請求項1、2、3又は4記載のロッドホルダ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、自動車で釣り竿を運搬するときの保持具として、野外で腰掛け椅子として、或いは、魚釣り時の竿立や、歩行時の荷物運搬具として多目的に使用できるロッドホルダに関する。

【0002】

【従来の技術】長い釣り竿は、複数に分割すると短くなり、自動車内に持ち込むことができるが、自動車の内部には、分割されたロッドや、ロッドを入れるロッドケー

10

20

30

40

50

スや、釣り竿に付属する小物等をまとめて収納、保持する設備がなかったので、水に濡れたロッドやリールを座席の前方の床などに置いていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】水に濡れたロッドやリールを座席の前方の床などに置くと、座席に座る人にとては邪魔になり、足を動かし難くなるので窮屈であり、煩わしい。又、分解されたロッドはばらばらでまとまりが無く、自動車走行時に倒れかかる虞がある。かかる現状から、釣り道具を1つにまとめて座席に座る人の邪魔にならない空間に保持してくれる便利なロッドホルダ（釣竿ホルダ）が望まれていた。

【0004】自動車から魚釣場やその他の行楽位置まで移動するときに、必要な荷物を載せられる荷物運搬具が必要な場合や、くつろげる椅子が欲しい場合が生じるが、自動車のトランクには、これら総てのものを収容するスペースはない。本発明はかかる課題を解決することを目的とし、自動車内に釣り竿及びその付属品をまとめて保持するロッドホルダとして便利に使用できるだけでなく、椅子、魚釣り時の竿立、歩行時の荷物運搬具に兼用できる多目的のロッドホルダ（釣竿ホルダ）を提供するものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、本発明の多目的のロッドホルダは、長手方向に平行な2本の主パイプと、該主パイプに両端部が接続する2本の連結パイプによりフレームを構成し、上記2本の主パイプと連結パイプにより構成される矩形領域を布製の袋で被覆し、上記2本の主パイプの両端部にそれぞれ上記2本の主パイプを貫通する支軸を設け、U字形状に屈曲形成された2個のアームの両端部に固着されたヒンジ部材を上記支軸に枢着し、上記ヒンジ部材に上記アームが上記フレームとほぼ同一面となる倒伏位置と該倒伏位置から直角に回動した起立位置において上記アームをロックするロック機構を設け、上記布製の袋の表面の両端部に、一側が上記袋に固着される帶状の面ファスナを配列して設けた。

【0006】上記ロック機構は、上記2本の主パイプの両端部にそれぞれ設けられた長孔と、該長孔にスライド可能に挿入される移動軸と、該移動軸を一方に付勢するロックスプリングと、上記ヒンジ部材に設けられ上記移動軸が挿入される円弧状長孔と、該円弧状長孔の一端より屈曲して延設される倒伏位置ロック溝と、上記円弧状長孔の他端より屈曲して延設される起立位置ロック溝とにより構成し、上記倒伏位置ロック溝及び倒伏位置ロック溝を、上記アームが倒伏位置及び起立位置となったときに、上記移動軸が付勢されている方向に延設するといい。

【0007】上記布製の袋の表面に、上部が開口する小物収納袋を取り付け、該開口に面ファスナを設けること

ができる。又、上記アームの中央部分をゴム製の筒状材で被覆することができる。上記布製の袋の幅方の両端部を、自動車の座席の背もたれ部分を巻回する長さを有し長さ調整可能な2条のバンドで連結し、該2条のバンドの中間に嵌脱可能な雄、雌一对のバックルを設け、該雄、雌一对のバックルは、雄、雌部分が相互に反対向きに配列され、一方のバンドのバックルの雄部分を他方のバンドの雌部分に嵌合させることができるようにするといよ。

【0008】

【発明の実施の形態】本発明の実施の形態について図面を参照して説明すると、図1はロッドホルダAを正面に近い角度から見た図面であり、ロッドホルダAのフレーム1は、長手方向に平行な2本の主パイプ2と、主パイプ2の両端に寄った位置に両端部が接続する2個の連結パイプ3により構成される。主パイプ2及び連結パイプ3は金属製のパイプ材であり、連結パイプ3の端部は溶接などの手段で主パイプ2に固定される。

【0009】2本の主パイプ2と連結パイプにより構成される矩形領域を、布製の袋4で被覆する。布製の袋4は大きな強度を有する布より袋状に形成され、矩形領域を緊張した状態で取り付けられ、布製の袋4の4隅を斜めに切欠した開口より主パイプ2の各端部が突出する(図1参照)。

【0010】U字形状に屈曲形成された2個のアーム5は、主パイプ2とほぼ同一直径を有し、両端部の間隔は2本の主パイプ2の間隔にはほぼ等しい(図1参照)。アーム5の中間部には、摩擦係数を増加させるためにゴム製の筒状材6を装着する。2個のアーム5の両端部の外面に、それぞれ一对のヒンジ部材7を当接し、外側から当接部を貫通する2個のボルト8の先端にナット9を締め付けて一对のヒンジ部材7をアーム5の両端部に固定する(図2、図3参照)。

【0011】一方のアーム5の両端部に固定された一对のヒンジ部材7の間に、2本の主パイプ2の端部を挿入し、ヒンジ部材7に設けた孔と主パイプ2の左右の両端部に設けた孔とを重ね合わせた後に支軸10を挿通する。従って、それぞれの一对のヒンジ部材7は、2本の主パイプ2の端部に枢着される(図2、図3参照)。他方のアーム5の両端部にそれぞれ固定された一对のヒンジ部材7も、同様にして2本の主パイプ2の他方の端部に枢着される。

【0012】一对のヒンジ部材7に、支軸10を中心とした円弧状孔11を設け、円弧状孔11の一端に円弧状孔11の外側に向けて屈曲する倒伏位置ロック溝12を延設し、円弧状孔11の他端に円弧状孔11の外側に向けて屈曲する起立位置ロック溝13を延設する(図2参照)。主パイプ2の各端部に長孔14を設け、長孔14内にスライド可能に挿入される移動軸15と支軸10との間にロックスプリング16を挿入する。

【0013】従って、アーム5が図2の実線位置にあるときには、移動軸15が倒伏位置ロック溝12に係入し、アーム5が図2の鎖線で示す位置5'の位置にあるときには、移動軸15が起立位置ロック溝13に係入する。以上で、アーム5を倒伏位置と起立位置にロックするロック機構が構成される。

【0014】布製の袋4の表面の両端部に、複数の(本実施例では4個の)面ファスナ17は配列して設けられる。面ファスナ17は、巻取り可能な帯状に形成され、

10 表面の一側に雄部のファスナ17aが設けられ、表面の他側には、雄部のファスナ17aに係合可能な雄部のファスナ17bが長い範囲にわたって設けられ(図5(A)、(B)参照)、面ファスナ17の一側の裏面が布製の袋4に固定される。面ファスナ17にロッドRを巻き付けて雄部のファスナ17bを雄部のファスナ17aに係合すると、面ファスナ17でロッドRを支持することができる(図5(C)参照)。

【0015】布製の袋4の幅方向(図1において上下方向)の両端を長さ調整可能な2条のバンド18で連結し、バンド18の中間部に、嵌脱可能な雄、雌一对のバックル19を設ける(図1、図4参照)。バックル19の雄部20には、雄部21に押し当てられたときに雄部21に弾性変形を伴って係合する爪20aが設けられ、爪20aの両端に設けられた操作部20bを挟むと爪20aが係合解除される(図4参照)。

【0016】バンド18は、自動車の座席の背もたれ部分を巻回することができる長さを有し、公知の長さ調整部材を操作して背もたれ部分の大きさに合わせて緊締して自動車の座席の背もたれ部分の後面に取り付けることができ、緩めると簡単に取り外しができるので、取り付け及び取り外しの操作が簡単である。バンド18を2条にしたのは、背もたれ部分にバンド18を巻回したときにロッドホルダAがぐらつかないようにするためにである。自動車の座席の背もたれ部分の後面に取り付けられたロッドホルダAは、後部座席に乗る人の邪魔にならない。

【0017】一方のバンド18の雄部20を他方のバンド18の雄部21に係合すると、ロッドホルダAの片側に歩行者の肩掛け用バンドとすることができる。布製の袋4の表面の中央領域に取り付けられる小物収納袋22は、収納物を透視し易いように網目が使用され、上部に設けられた開口に面ファスナ23が設けられる。

【0018】次に、以上のように構成された多目的使用型のロッドホルダAの使用方法を、図6~図12を参照しながら説明する。図6は、ロッドホルダAのアーム5をフレーム1とほぼ同一面となるように倒伏し、自動車の座席の背もたれBに2条のバンド18を巻回し、長さ調整部材で緊締して、ロッドホルダAを座席の背もたれの後面に取り付け、釣りのロッドRを左右の面ファスナ

50 17に巻付けて支持した状態を示す。従って、ロッドR

の取り付け、取り外しは簡単であり、取り付けたときにはロッドRが整然と配列した状態で、動搖することなく確実に面ファスナ17に支持される。

【0019】面ファスナ17を長くしておけば、1セットのロッドRを一まとめにして支持することができ、面ファスナ17が左右4対あれば、4人分のロッドRが支持でき、ロッドRが動搖することもない。リール等の釣り道具の小物をまとめて小物収納袋22に入れておくと、整理ができ、収納物が透視により容易に確認でき、収納した小物を探すような煩わしさはないので便利である。

【0020】倒伏したアーム5を起立させるには、図7に示すように、片手で支軸10と移動軸11とを握って移動軸11を支軸10の方に押し付ける。押し付けられた移動軸11は倒伏位置ロック溝12から円弧状孔11に押し出される。残る片手でアーム5のゴム製の筒状材6を持ってアーム5を回動させると、移動軸11が円弧状孔11内を移動し、アーム5がほぼ90度回動した起立状態になったときに、移動軸11の押し付け力を開放すると、移動軸11が起立位置ロック溝13に係入するので、アーム5が起立状態の保持される。

【0021】アーム5を起立したロッドホルダAを自動車の座席の背もたれBに取り付ける場合には、自動車の後部座席の空間がアーム5が起立しただけ狭くなるが、ロッドRを入れたロッドケースSをアーム5に載せることができる(図8参照)。アーム5を起立したロッドホルダAは、図9に示すように、椅子に利用することができる、魚釣りや野外の休息に便利である。

【0022】両アーム5を倒伏させた状態で、一方のバンド18のバックル19の雄部20を他方のバンド18のバックル19の雌部21に係合すると、ロッドホルダAの一方に両バンド18によって1つのリング状のバンドが形成されるので、このリング状のバンドの長さを適当な長さに調整すると、ロッドホルダAを持ち運ぶのに便利な肩掛け用バンドになる(図10参照)。

【0023】一方のアーム5を起立させ、他方のアーム5を倒伏し、起立したアーム5を下にして2条のバンドAを肩に掛けると、荷物運搬具になり、起立したアーム5に荷物を載せて運ぶことができる(図11参照)。あるいは、起立したアーム5を岸壁などに置き、釣りができるよう1本に接続したロッドRを、倒伏状態のアーム5のゴム製の筒状材6に立て掛けると、釣りの竿立てとしても利用できる(図12参照)。

【0024】

【発明の効果】本発明は以上のように構成されているので、以下に記載されるような効果を奏する。

(1) 本発明のロッドホルダは、複数の釣り竿用のロッドを収容する能力があり、自動車走行中でも、面ファスナはロッドを動搖することなく確実に保持する。

(2) 本発明のロッドホルダは椅子や、運搬具などに多目

的に使用できるので、収容能力には限りがある自動車のトランクに、椅子や運搬具などを積み込めなかつた従来の不便を解消することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】ロッドホルダをほぼ正面から見た図である。

【図2】ロッドホルダのロック機構の正面図である。

【図3】図2の側面図である。

【図4】ロッドホルダのバンドに設けられたバックルの斜視図である。

10 【図5】(A)は面ファスナの正面図、(B)は側面図、(C)は使用状態を示す側面図である。

【図6】自動車の座席の背もたれに取り付けられたロッドホルダの斜視図である。

【図7】アームの倒伏操作を説明する斜視図である。

【図8】アームを起立して自動車の座席の背もたれに取り付けられたロッドホルダの斜視図である。

【図9】椅子として使用されるロッドホルダの斜視図である。

20 【図10】携帯する状態にしたロッドホルダの斜視図である

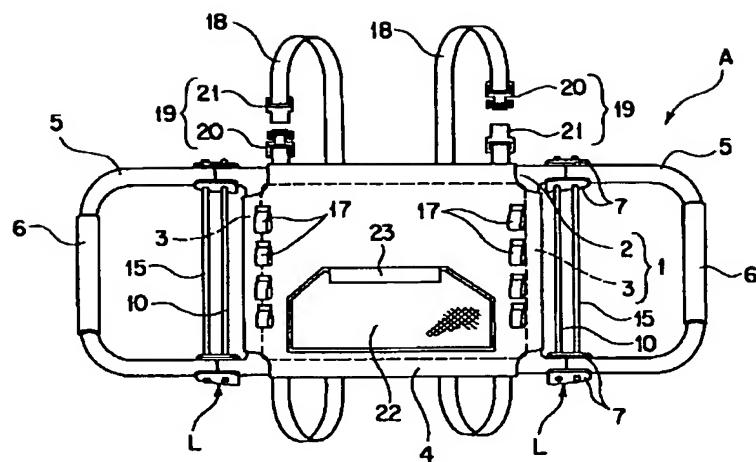
【図11】運搬具として使用されるロッドホルダの斜視図である。

【図12】竿立てとして使用されるロッドホルダの斜視図である。

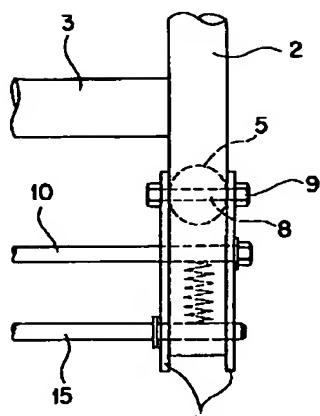
【符号の説明】

A	ロッドホルダ
B	自動車の座席の背もたれ部分
L	ロック機構
R	釣り道具のロッド
S	ロッドケース
1	フレーム
2	主パイプ
3	連結パイプ
4	布製の袋
5	アーム
6	ゴム製の筒状体
7	ヒンジ部材
10	支軸
11	円弧状孔
12	倒伏位置ロック溝
13	起立位置ロック溝
14	長孔
15	移動軸
16	ロックスプリング
17	面ファスナ
18	バンド
19	バックル
20	雄部
21	雌部
50	小物収納袋
22	

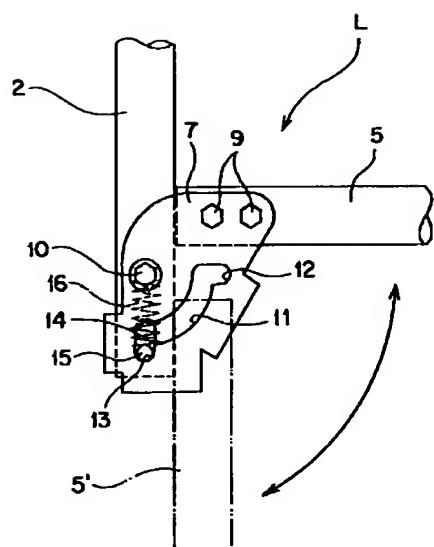
【図1】



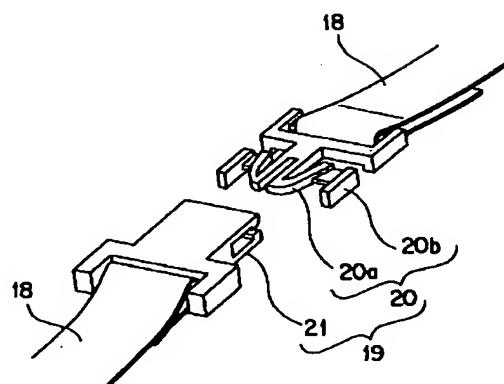
【図3】



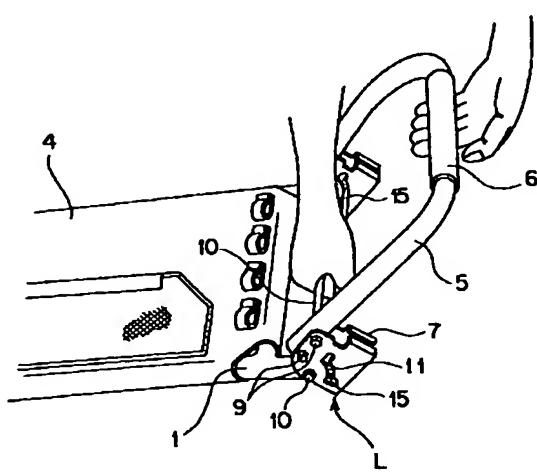
【図2】



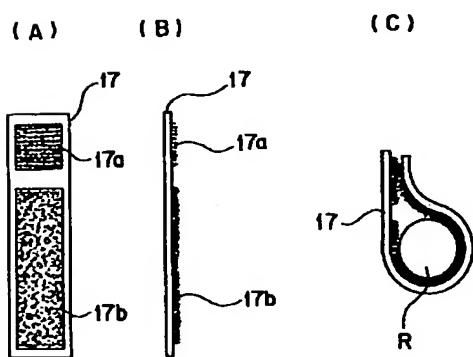
【図4】



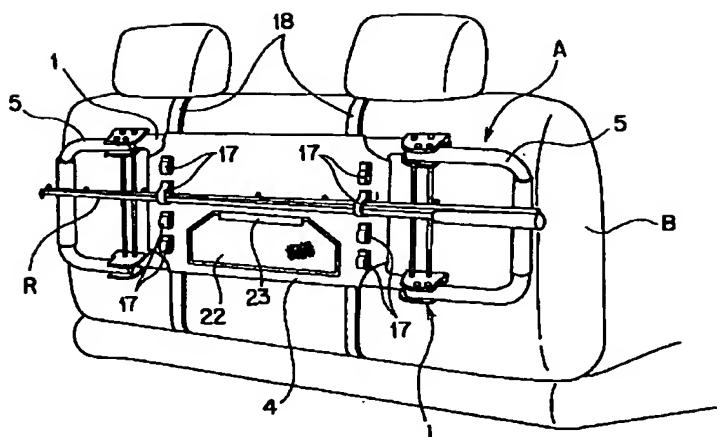
【図7】



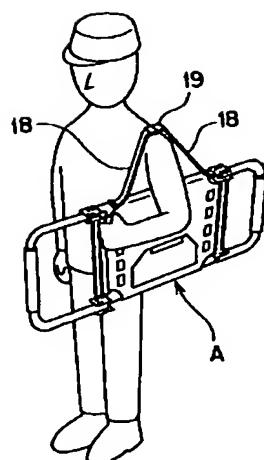
【図5】



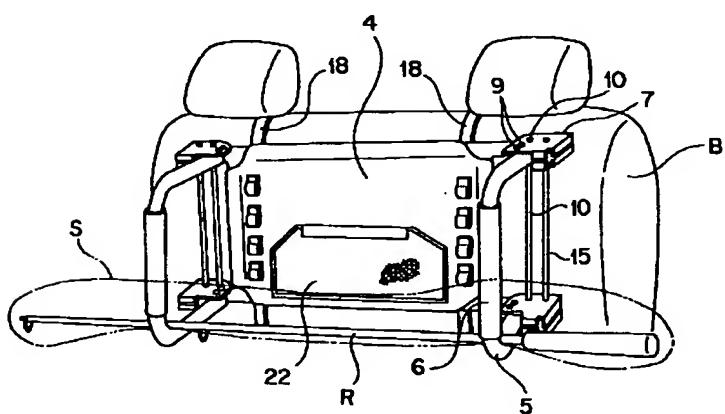
【図6】



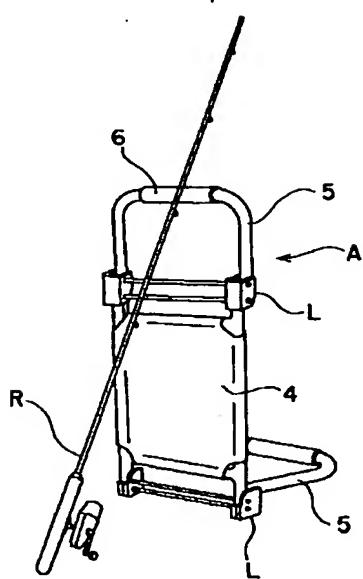
【図10】



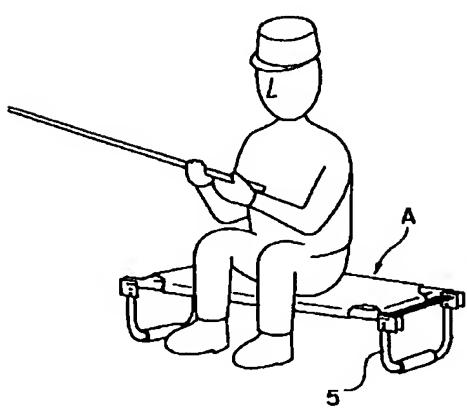
【図8】



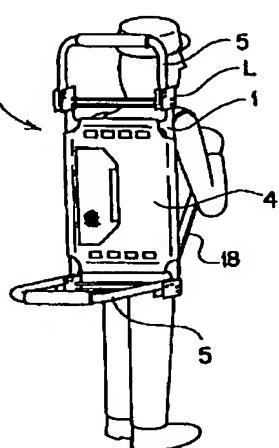
【図12】



【図9】



【図11】



フロントページの続き

(72)発明者 齊藤 勉
愛知県日進市折戸町福池85-1 トヨタ自
動車株式会社内

(72)発明者 那波 輝朗
愛知県名古屋市名東区にじが丘1-1-1
ジプロ株式会社内

PAT-NO: JP410108604A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 10108604 A
TITLE: ROD HOLDER
PUBN-DATE: April 28, 1998

INVENTOR-INFORMATION:

NAME
ITO, SHUICHI
SAITO, TSUTOMU
NABA, NOBUAKI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
TOYOTA MOTOR CORP	N/A
JIPURO KK	N/A
KK TATEMATSU SEISAKUSHO	N/A

APPL-NO: JP08264686

APPL-DATE: October 4, 1996

INT-CL (IPC): A01K097/10, A47C009/10 , A47C013/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a rod holder to be used for many purposes as a holder when carrying a fishing rod on an automobile, as a chair for sitting outdoors, as a rod stand at the time of fishing or as a baggage carrier in the case of walking.

SOLUTION: This rod holder A is constituted by providing an almost rectangular frame 1, arms 5 turnably and pivotally attached at both ends of the frame 1, lock mechanism L for locking the arms 5 at falling position and erecting position, bag 4 made of cloth for covering the rectangular area of the frame 1, length adjustable band 18 attached on the bag 4 made of

cloth,
attachable and detachable buckle 19 fitted in the middle of the band
18, plural
hook-and-loop fasteners 17 arranged and provided on the surface of
the bag 4
made of cloth, and small article storage bag 22.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO

DERWENT-ACC-NO: 1998-304908

DERWENT-WEEK: 199827

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Multipurpose holder installed in motor vehicle
for fishing rod - has frame whose rectangular
surface area is covered with fabric bag which holds number of
hook and loop fasteners

PATENT-ASSIGNEE: JIPURO KK[JIPUN] , TATEMATSU SEISAKUSHO KK[TATEN],
TOYOTA
JIDOSHA KK[TOYT]

PRIORITY-DATA: 1996JP-0264686 (October 4, 1996)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE
PAGES MAIN-IPC		
JP 10108604 A	April 28, 1998	N/A
007 A01K 097/10		

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP 10108604A	N/A	1996JP-0264686
October 4, 1996		

INT-CL (IPC): A01K097/10, A47C009/10 , A47C013/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 10108604A

BASIC-ABSTRACT:

The holder includes a frame (1) which is substantially fabricated in a rectangle manner coupling two parallel main pipes (2) with two coupling pipes (3). An arm (5) is pivoted to both sides of the frame so that the arm is kept in locking position or standing position using a lock mechanism (L). The rectangular surface area of the frame is covered using the fabric bag (4) which

is attached with strap bands (18).

Both ends of the strap band is provided with a buckle (19) which clamps together and keeps the bag clung to the frame. Surface of the bag is provided with a number of hook and loop fasteners (17) which holds fishing rods. A small article storage bag (22) is attached on the fabric bag along with the hook and loop fasteners.

ADVANTAGE - Enables reliable holding. Holds rod reliably.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/12

TITLE-TERMS: MULTIPURPOSE HOLD INSTALLATION MOTOR VEHICLE FISH ROD FRAME

RECTANGLE SURFACE AREA COVER FABRIC BAG HOLD NUMBER HOOK
LOOP
FASTEN

DERWENT-CLASS: P14 P26

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1998-239482